

【リベラルアーツ教育科目】カリキュラムマップ(2026年度入学生用)

授与する学位：—		ディプロマ・ポリシー※各学科に準ずる																
知識・理解	幅広い視野	DP1:人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している DP2:専門分野について適切な知識や理解、そして技術を有している DP3:幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる																
汎用的能力	基本的能力	DP4:適切な日本語運用力を修得し、活用することができる DP5:母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用することができる DP6:基礎的ICTの知識・スキルを修得し、適切に活用することができる DP7:数値的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができる																
態度・志向性	豊かな人間性	DP8:仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている DP9:多様性の尊重と共生の精神を有している DP10:日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる																
	態度・志向性	DP11:高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れず他者と接することができる DP12:専門分野の知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる DP13:専門分野の知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している																
統合的な学習経験と創造的思考力	応用的能力	DP14:自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成をする力を備えている DP15:現代社会の諸問題を解決するために、専門的知識と技能を活用し、問題解決に実践的に取り組むことができる																
学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号															
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで															
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15	
仏教の人間観Ⅰ	仏教の人間観の学びを通じて自他の理解を深める	1. 人間観なるものに触れる	○								○							
		2. 仏教をはじめとする複数の人間観を学び、他者や共同体のあり方に自分がかかわっていることを自覚できる			○									○				
		3. 自分自身の他者に対する向き合い方を振り返ることができる										○		○				
仏教の人間観Ⅱ	仏教の人間観の学びを通じて校訓を理解し、実践できる	1. 仏教をはじめとする複数の人間観を通して、社会のありようを考察できる	○								○	○						
		2. 仏教の人間観にもとづく他者への思いやりを理解できる									○	○		○				
		3. 真実に即した心のコントロールの必要性を十分理解できる									○	○		○				
京都光華の学び	本学建学の理念と特色を理解し、それらを基盤としながら、自立した“市民”に必要な批判的思考力(情報を集め、それらを批判的に評価し、責任ある判断を下す力)を身に付ける	1. 自校史、および建学の精神によって立つところを理解し、大学生活の中に活かそうとする									○	○		○				
		2. 社会的・政治的論争のある問題について、関連情報を集め批判的に評価し、自らの意見を述べるができる			○							○					○	
		3. 身近な地域コミュニティの課題に対して、関連情報を集め批判的に評価し、自らの意見を述べるができる			○						○	○						
アカデミックスキル入門	大学での学修の基盤となる学修行動を理解し、基本的な技術を身につける	1. 大学生として学修に対し適切にして自覚的振舞いができる			○	○												
		2. 大学で求められる情報検索や処理の基本を理解し実践できる								○	○							
		3. レポートの基本的な形式を理解し、実践できる			○	○												
アカデミック・ライティング	文章や口頭での適切かつ効果的な表現方法の習得と活用	1. 目的に応じて適切な語彙と表現を選択することができる				○								○				
		2. 自分の意見を論理的かつ効果的に組み立て発表できる			○						○							
		3. 他者の文章や口頭表現を適切に批評、添削することができる			○	○												
データサイエンス入門	データやAIを生活や仕事等の場で使いこなすための基礎的素養を身につける	1. データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値とデータ・AIを扱う上での留意事項を説明できる			○					○	○							
		2. Excelなどの表計算ソフトウェアを用いてデータを適切に整理・分析することができる			○						○	○						
		3. 整理したデータや分析結果を正しく読み解き、適切な図表を用いて表現し、他者に分かりやすく伝えることができる			○							○	○					
伝統文化	礼法・茶道・華道・書道への理解を深め、基本的な所作を修得する。	1. 礼儀作法を基盤として季節感、審美眼を養い、日本文化の特性を説明することができる。	○										○					
		2. 礼法・茶道・華道・書道における基本的な手法と立ち振る舞いを修得している。											○	○				
		3. 礼法・茶道・華道・書道の関連性を理解し、他者への思いやりを備えた行動をとることができる。												○	○			
総合英語Ⅰ	社会で活躍する場面で必要とされる英語運用能力を高めるとともに、批判的および創造的思考力と発信力を鍛える	1. コミュニケーションするために必要な英語語彙・表現を学習する			○			○								○		
		2. コミュニケーションするために必要な英語の文構造ならびに発音を習得する			○			○								○		
		3. 相手意識をもち言語活動として英語を使うことができる			○			○								○		
総合英語Ⅱ	社会で活躍する場面で必要とされる英語運用能力を高めるとともに、批判的および創造的思考力と発信力を鍛える	1. コミュニケーションするために必要な英語語彙・表現を学習する			○			○								○		
		2. コミュニケーションするために必要な英語の文構造ならびに発音を習得する			○			○								○		
		3. 他者意識をもち言語活動として英語を使うことができる			○			○								○		
English in Use A	話すこと聞くことを通して、英語コミュニケーションの重要なスキルを学ぶ	1. 英語を話す目的に応じた適切な語彙と表現を学習する			○			○								○		
		2. 英語で伝えるための正しい発音や文構造を習得する			○			○								○		
		3. 他者に伝えるためのやりとりや発表ができる			○			○								○		
English in Use B	英語のライティングに焦点をあて、特にオンライン上で活用できる基礎的な英語表現を学ぶ	1. 英語を書く目的に応じた適切な語彙と表現を学習する			○			○								○		
		2. 英語で伝えたいことを書くための文構造を習得する			○			○								○		
		3. 他者に伝えるための英文が書ける			○			○								○		
English in Use C	社会で活躍する場面で必要とされる英語運用能力を高めるとともに、批判的および創造的思考力と発信力をリーディングを通して鍛える	1. 英語文献を読んで理解するために必要な英語語彙や表現を学習する			○			○								○		
		2. 英語文献を読んで理解するために必要な文構造を習得する			○			○								○		
		3. 情報源として、英語文献を用いることができる			○			○								○		
English in Use D	話すこと聞くことを通して、英語コミュニケーションの重要なスキルを学ぶ	1. 英語を話す目的に応じた適切な語彙と表現を学習する			○			○								○		
		2. 英語で伝えるための正しい発音や文構造を習得する			○			○								○		
		3. 他者に伝えるためのやりとりや発表ができる			○			○								○		
English in Use E	英語のライティングに焦点をあて、特にオンライン上で活用できる実践的な英語表現を学ぶ	1. 英語を書く目的に応じた適切な語彙と表現を学習する			○			○								○		
		2. 英語で伝えたいことを書くための文構造を習得する			○			○								○		
		3. 他者に伝えるための英文が書ける			○			○								○		
English in Use F	社会で活躍する場面で必要とされる英語運用能力を高めるとともに、批判的および創造的思考力と発信力をリーディングを通して鍛える	1. 英語文献を読んで理解するために必要な英語語彙や表現を学習する			○			○								○		
		2. 英語文献を読んで理解するために必要な文構造を習得する			○			○								○		
		3. 情報源として、英語文献を用いることができる			○			○								○		

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号															
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで															
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15	
医療英語	健康科学分野で必要とされる英語表現および医学用語を学び、英語論文を抄読する	1.健康科学分野において必要な英語表現を学習する 2.健康科学分野に必要な英語の医学用語および略語を修得する 3.健康科学分野における重要な英語論文を抄読する		○				○								○		
中国語Ⅰ	中国語コミュニケーションのための基礎を身につける	1.中国語の正しい発音を習得する 2.中国語で自己紹介ができる 3.中国の文化への理解を深める		○				○								○		
中国語Ⅱ	中国語コミュニケーションのための基礎を身につける	1.中国語の基本的な語法を習得する 2.中国語で簡単な会話ができる 3.中国の社会と生活への理解を深める		○				○								○		
ハングルⅠ	韓国語コミュニケーションのための基礎を身につける	1.韓国語で簡単な挨拶ができる 2.韓国語の発音及び文法の基礎が理解できる 3.語学の学習を通じて、隣国の文化を知る		○				○								○		
ハングルⅡ	韓国語コミュニケーションのための基礎を身につける	1.韓国語で簡単な会話ができる 2.韓国語の発音及び文法が理解できる 3.語学の学習を通じて、隣国の社会と生活を知る		○				○								○		
海外での語学研修	外国語コミュニケーション力を強化するとともに、異文化理解を深め、視野を広げる	1.海外での生活を慣れ、研修先の言語で平易な日常会話ができるようになる 2.異文化を理解し、多様な価値観を知る 3.海外での生活体験を通じて、自立心や生活力、コミュニケーション能力を高める						○					○			○		
健康の科学	健康に対する知識の習得及び実践方法について学びを深める	1.望ましいライフスタイルと生涯環境の側面から健康について理解し、説明ができる 2.個人・集団の健康指標を分析できる 3.健康の自主管理の実践に取り組むことができる	○		○													○
食生活と健康	食品中の様々な栄養成分について理解し、健康な食生活に役立てる	1.健康に必要な栄養成分を理解している 2.食品の栄養成分について理解している 3.健康を維持するための食品の適切な摂取法を理解し、実践できる	○	○														○
生涯スポーツ入門	豊かなスポーツライフを実現するための知識と実践する力を身に付ける。	1.生涯スポーツの理論を学び、自身の生活について省察する。 2.様々なスポーツの価値を理解し、自身のスポーツへの関わり方を検討する。 3.スポーツ観戦やスポーツボランティアの取り組みについて知る。	○									○						○
スポーツ実技Ⅰ	身体活動の重要性と楽しさを学ぶ	1.スポーツの本質に迫り、独自のおもしろさを確認する。 2.スポーツ技術を系統的に実践することができる。 3.スポーツを自主的、集団的に実践できる力を高めることができる。			○											○		○
スポーツ実技Ⅱ	身体活動の重要性と楽しさを学び、各種目の運動特性を理解する。	1.各スポーツの本質に迫り、独自のおもしろさを確認する。 2.各スポーツの技術を系統的に実践することができる。 3.各スポーツを自主的、集団的に実践できる力を高めることができる。			○											○		○
アダプテッドスポーツ	アダプテッドスポーツについて理解し、実践する方法を学ぶ	1.アダプテッドスポーツ全般に関する教養を身につける。 2.アダプテッドスポーツの様々な種目についてルールを理解して実践できる。 3.アダプテッドスポーツを理解し、支援することができる。	○													○		○
マインドフルネス	今ここにある心身にこころをとおき感情を手放していく修養法であるマインドフルネスをその基礎から実践し、こころの整え方を学ぶ。	1.マインドフルネスが意図することを理解し説明できる。 2.心身を調整し瞑想を実践できる。 3.こころを整えていくことの重要性を理解し日常においても実践できる。											○			○		○
教養囲碁入門	囲碁の基本を学び、対局を通して「コミュニケーション能力」「論理的な思考力」を養う	1.囲碁の基本的なルールを学び、理解する。 2.囲碁の対局を実践することができる。 3.囲碁の歴史など、囲碁を取り巻く多様な文化を他者に説明できる	○			○										○		
哲学と倫理	人間の個人および社会の幸福、自由、正義を哲学的に考察する	1.哲学者たちの人生や思想を理解する 2.哲学者たちの考え方を手がかりとして、自分を振り返ることができる 3.哲学者たちの考え方を手がかりとし、正しい社会の在り方を考察できる	○			○							○				○	
くらしのなかの宗教	現代社会に生きる様々な宗教文化や形態、慣習を理解し、国内外の様々な宗教を持つ人々を尊重し対応する姿勢を学ぶ	1.身近にある宗教的文化を理解し説明できる 2.いくつかの代表的な宗教文化について適切な知識を習得している 3.様々な宗教文化を通して人が持つ価値観の多様性を理解できる	○													○		
仏教文化	アジア各地に伝播した仏教文化への理解を深める	1.「仏教」を文化として理解する 2.アジア各地の仏教文化の特徴を理解する 3.仏教史と文化との関連性を理解する			○								○			○		
文化人類学	文化人類学の視点を通じて文化を考察する	1.文化人類学の視点や分析法を理解している 2.《他者》を理解し《他者》から学ぶ姿勢を身につけている 3.異文化を通じ自分を振り返ることができる	○													○		○
言語と文学	言語の性質を理解し、文学作品を分析・鑑賞する方法を理解している	1.言語の基本的性質を理解し、現代社会における言語の働きを自ら分析することができる 2.言語による表現の代表として文学作品を読み解き、自らの確かな批評を行うことができる 3.言語と文学作品を通して、自らの生き方について内省を深め、人生を豊かにする姿勢と持っている			○	○												○
日本文化の理解	日本文化の特質を正しく理解する	1.日本社会の成り立ちと展望を理解できる 2.文化の多様性・重層性を理解できる 3.現代の日常生活に生きている日本の伝統文化を認識することができる	○													○		
京都の歴史と文化	京都を視点として、日本社会・文化の成り立ちとその変遷を理解している	1.日本の歴史に関する基礎的な知識を修得している 2.京都が日本の歴史でどのような位置を占めるかについて認識を深め、現代の社会や文化が成り立つ基礎を理解している 3.京都と地域との関係を理解し、時代によって変遷する関係の多様性を理解している	○			○										○		

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号																
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで																
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15		
芸術文化論	美術・音楽・映画・舞台などの芸術が古典を受容しつつ新たな世界を獲得していくことを、具体例を通して学び、芸術文化の創造性と持続性について理解を深める。	1. 古典的なテーマを持つ普遍性を手がかりにして、各時代の思想的・文化的背景を理解できる 2. 芸術文化の同時代性を、さまざまな視点から考察できる 3. 芸術文化と自らと文化との接点を見出し、豊かな人生を送る基盤とすることができる	○		○														
サブカルチャー論	現代文化の諸相について広げ、文化の多様性・創造性について理解を深める	1. 現代文化の多様性を理解し、幅広い知識を修得している 2. 言語・映像による表現の可能性を理解し、すぐれた表現を持つ作品について、自ら分析・批評を行うことができる 3. 現代社会におけるサブカルチャーの意義を自ら説明することができる	○			○		○			○								
現代アジア事情	アジアの文化に対する理解を深める	1. アジアの文化に対する理解を深め、理解できる 2. アジアの歴史と国際情勢を理解できる 3. アジアの文化との比較を通して自国の文化を認識できる	○		○							○							
現代欧米事情	現代のアメリカやヨーロッパの動向や課題を把握し、グローバル社会への理解を深める	1. 現代のアメリカやヨーロッパの動向と課題を、的確に把握できる 2. 欧米社会を視点として多様性がもたらすさまざまな現象を把握し、グローバル社会の可能性と課題が理解できる 3. グローバル社会の一員として、とくに欧米社会とどのように関わっていけばいいかを構想できる	○									○							○
国際社会の理解	世界がどのように動いているのかを把握し、グローバル社会への理解を深める	1. 現代の国際情勢を理解できる 2. みずからがグローバル社会の一員であることを認識できる 3. 東アジア、そして世界の平和構築のために何ができるかを構想できる	○			○						○							○
国際社会とジェンダー	ジェンダーの視点を基礎から学ぶ。また、ジェンダー問題の国際比較をし、自分の暮らしと社会のジェンダー課題を批判的に考察する視点を身につける。	1. どのようにジェンダーが構築されているかを、日常生活の具体的な場面から考察することができる 2. 現代社会におけるジェンダーの課題を自らの課題として捉え、考察する態度を身につけている 3. ジェンダー課題に対する国際的な潮流、各国の現状や取り組みを理解し、自分の暮らしと社会の現状を含め、批判的に考察できる。	○		○							○							○
心理学	学習、発達、情動、知能などの心理学の諸理論の概要を把握する	1. 心理学の様々な領域における基本的な知識を習得する 2. 心理学的なものの方を理解できる 3. 心理学を実践と結びつけながら考え、相互の理解を深める			○									○		○			
社会学	社会的なものの方を理解する	1. 社会学の基礎概念を理解する 2. 社会学が対象とする多様な領域について理解する 3. 社会学を現代社会の諸問題と結びつけて考えることができる	○									○							○
日本国憲法	日本国憲法の理念と現実を理解する	1. 憲法の基本的な原則を理解する 2. 具体的な判例等を通して人権の問題を理解する 3. 暮らしにおける憲法の意味を理解する	○		○							○			○				○
現代社会と法	実社会で活用できる「法的なものの方」 「法を使いこなす力」を養う	1. 人権に関する基本的な知識を取得し、解釈の方法や裁判例の読み方を身につけることができるようになる。 2. 国や地方の政治が動く仕組みを理解し、自身がその構成員であるということ意識できるようにする。 3. 論理的な文章が書けるようになる。	○		○							○				○			○
現代社会と政治	よき主権者として政治に関心をもち、積極的に参加するための知識、技能、態度を身につける	1. 政治学の基本的知識を理解している 2. 現代社会の様々な問題から、政治のあり方はいかにあるべきか理解している 3. 現実の政治現象を論理的に考え、自らの言葉で説明できるようにする	○		○							○							
くらしのなかの経済学	現実社会における実際の経済現象や時事問題を経済学という視点で、より身近なものとして捉えるための基本を身につける	1. 経済学全般の基礎概念と基本的な分析枠組みの概要を理解できる 2. 家計・企業・政府といった経済主体、国内総生産・失業率等の経済指標、企業と市場との関係、景気や物価など経済現象の現状と背景について理解できる 3. くらしの中にある身の回りの出来事と経済学の関係を具体的に理解できる	○		○						○								○
くらしのなかの統計学	身近な題材をもとに、確率・統計の基本的な考え方を学ぶ	1. 社会におけるデータと統計の役割を理解している 2. 基礎的な確率の概念を理解し、応用することができる 3. 推測統計の基本的な考え方を理解している			○					○									
情報社会の理解	社会の情報化が及ぼす影響と課題、現代の情報社会を生きていく上で必要となる情報倫理や情報セキュリティの重要性についての基礎を身につける	1. 情報基礎リテラシーについてその必要性及び概要を理解できる 2. 情報倫理・情報セキュリティについてその必要性及び概要を理解できる 3. 情報社会で発生し得る様々な問題に対して、実際の状況に即した適切な判断・決定をおこなうことができる							○									○	
生命の科学	身近な生命・生物が関連する現象・事象を生物学・生化学の視点で考察する	1. 生命・生物の特性を説明できる 2. 身近な生命・生物が関連する現象・事象に興味をもち、理解できる 3. 生命の進化・分類を説明できる	○	○															
生活と物理・化学	生活の中にある物理・化学現象を理解する	1. 基礎的な物理と化学の知識を身に付ける 2. 生活の中に存在する物理現象について理解する 3. 生活の中に存在する化学現象について理解する	○	○															
地域と環境	環境破壊に至った経緯と、現在の状況を正しく理解し、持続可能な社会の在り方を提案できる。	1. 環境問題の現状について理解している 2. 環境問題が起こった経緯を理解している 3. 人類がめざすべき循環型社会について、正しい知識をもとに論じることができる	○		○									○					
生活と防災	被害を最小限に抑えるための正しい防災知識を産学と実学の両面から身に付ける。	1. 近年の災害状況を理解している 2. 防災に関する正しい知識を身につけている 3. 防災知識を実践で活かせるように備えている	○			○							○						○
ボランティア論	ボランティアの意味と幅広い活動分野の学習を通じたボランティア活動の基礎理解	1. ボランティアとは何かを理解している 2. ボランティア活動には幅広い活動分野があることがわかる 3. ボランティア活動とその根底にある社会問題とを関連させて捉えることができる	○	○									○						○
情報リテラシー	大学での学習および生活において必須となる基礎的なICT利活用能力を身につける	1. 自らのパソコンを適切に管理し、安全に活用できる 2. Officeソフトの操作を理解し目的に応じた資料作成等ができる 3. セキュリティや情報モラル等を理解し場面に応じた必要な判断ができる							○									○	
情報技術の理解	コンピュータ(情報処理)およびコンピュータネットワーク(情報通信)全般の基礎知識を身につける	1. 情報処理技術(コンピュータ)全般に関して、主にハードウェア、ソフトウェアの概念や動作の仕組みの基本について理解できる 2. 情報通信技術(ネットワーク)全般に関して、主にコンピュータネットワークの概念や動作の仕組みの基本について理解できる 3. 情報社会での様々な問題解決の基本として必要となる情報通信技術の現状や将来について幅広く理解することができる	○		○			○											

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号															
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで															
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15	
数的処理の基礎	数的処理の基礎を理解し、数量を解釈してデータの処理ができる力を養う	1. 数学と数的処理の基礎力を身に付ける									○							
		2. 物事を筋道立てて考え、数量を解釈することができる									○							
		3. 割合の理解と応用、比、速さ、データの統計的処理について理解する									○							
読解と思考の技法	実生活に生きる読解力と思考力を身に付ける	1. 段落相互の関係に着目し、要旨を捉えることができる(基本的読解力・指導力)				○												
		2. 根拠をもとに筋道立てて考えることができる(思考力)				○												
		3. 論理的で建設的な思考の技法を修得することができる(クリティカル・シンキング)			○	○												
Webデザイン	実践的なウェブサイト制作のノウハウを学ぶ	1. テキストエディタを用いてHTMLを記述できるようになる		○					○									
		2. CSSの基本的な記述ルールを理解し、デザイン性の優れたホームページが作れるようになる		○					○									
		3. 基本的なWebサイト管理ができるようになる		○					○									
産官学連携プロジェクト	地域連携プロジェクトを通じた実践力の養成	1. 地域社会の課題を明確に捉えることができる				○											○	
		2. 地域団体(企業、行政、NPOなど)のメンバーと協同でプロジェクトを推進できる												○			○	
		3. 新しい提案で現状の課題をクリアすることができる			○													○
キャリア実習	就業体験により職業についての理解を深める	1. 就業体験の目標を設定し、職場が求めるスキルを理解する													○	○		
		2. 就業体験を通して自己の職業適性を理解する													○	○		
		3. 就業体験で得た事を報告書にまとめて発表する													○	○		
インターンシップ	自らの能力を見極めるとともに、将来の職業選択に繋がる就業体験を行う	1. 自身の専門性を活かせる就業体験先を調査し、社会が求める能力やスキル等について理解できる													○	○		
		2. 将来の職業選択につながる就業体験を通じて自身のキャリアデザインを構築できる													○	○		
		3. 就業体験で得たことを報告書にまとめて、発表できる													○	○		
データサイエンスのための数学	データ・AIの活用に必要な数学の基礎知識を身に付ける	1. 多項式関数、指数関数、対数関数など、初等関数の性質を理解している		○						○								
		2. ベクトルと行列の基礎を理解し、簡単な計算ができる			○					○								
		3. 1変数関数の微分と積分の基礎的事項を理解し、簡単な計算ができる			○					○								
プログラミング入門	プログラミングを通じて、論理的思考力を鍛える	1. プログラミングに関する基礎知識を身に付けている		○					○									
		2. Pythonなどのプログラミング言語を使って、簡単なプログラムが作成できる			○				○									
		3. 自分のアイデアをプログラムで表現できる			○													○
AIへのアプローチ	AI(人工知能)の基本的な概念と手法、応用例を学ぶ	1. AI技術およびデータエンジニアリングの基礎的事項を理解している			○													
		2. AIやその周辺技術の現状と課題を把握し、社会実装の具体例を説明できる			○													
		3. 今後、AIが社会に受け入れられるために考慮すべき論点を理解している	○		○													
データサイエンスへのアプローチ	データサイエンスおよびデータエンジニアリングの基本的な概念と手法、応用例を学ぶ	1. 分析目的に応じ、適切なデータ分析手法、可視化手法を選択でき、結果を適切に解釈できる		○						○								
		2. 収集したデータを適切に下処理し、分析目的に応じた形に整えることができる			○					○								
		3. 社会におけるデータ活用の現状とデータを扱う上での留意点を理解している			○	○												
データサイエンスPBL	実データ活用による課題解決演習	1. データ活用による問題解決のプロセスを体験し、データが生み出す価値を説明できる			○									○			○	
		2. 問題解決に必要なデータを収集し、適切に加工・分析し、ドメイン知識を踏まえて、分析結果を評価できる			○					○								○
		3. 問題解決につながるための報告書や提案書を分かりやすく作成することができる			○	○												○
日本語F I	日本語運用能力を身に付ける	1. 読む・書く・話す・聞くの4技能について、日常レベルの運用力を習得している						○							○			
		2. 新聞記事・論説文などを読解し、要約できる						○							○			
		3. 文法的に正確な表現ができる							○						○			
日本語F II	日本語運用能力を向上させ、日本語で見たり聞いたり考えたりできる	1. 読む・書く・話す・聞くの4技能について、大学の学習に適用した運用力を習得している						○							○			
		2. 新聞記事・論説文などを読解し、要約できる						○							○			
		3. 話し言葉と書き言葉の使い分けができる							○						○			
日本語S I	日本語運用能力を向上させる	1. 日本語の論文を読むことができる		○				○							○			
		2. 口頭発表や質疑応答が十分にできる			○				○						○			
		3. 論理的な文章を書くことができる			○					○					○			
日本語S II	日本語運用能力を向上させ、日本語で研究できる	1. データの集め方やレジュメの作り方を習得している			○				○					○				
		2. 文法的に正確な表現ができ、専門的な語彙を身に付けている			○				○						○			
		3. レポートや小論文を適切な日本語で書くことができる			○					○					○			
日本事情 I	日本の文化・習慣を理解する	1. 日本についての基礎的な知識を身に付けている							○					○		○		
		2. 日本での生活で留意する点を理解している								○					○		○	
		3. 体験学習を通じて日本文化への理解を深めている								○					○		○	
日本事情 II	日本の文化・習慣を理解し、自国の文化や習慣と比較し、異文化理解を深める	1. 日本の伝統文化についての知識を身に付けている							○					○		○		
		2. サブカルチャーなど、現代の日本についての理解を深めている								○					○		○	
		3. 日本と時刻の文化・習慣を比較し、自分の意見を述べるができる								○					○		○	